

議会だより こさか

2018年
vol.85
平成30年6月10日発行



小中学校合同大運動会（5月12日 記念競技場）

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 3月定例議会の概要
(新年度予算審議) | 2 ~ 7 |
| 2. 4月臨時議会の概要 | 7 |
| 3. 一般質問
こんなことを聞きました（4議員） | 8 ~ 11 |
| 4. 委員会構成 変わりました | 12 ~ 13 |
| 5. 議員と語る会開催のご案内 | 14 |
| 6. みんなの広場への投稿を募集 | 14 |



新装になったセバーム・テニスコート

3月 定例議会

平成30年度 一般会計予算 38億6,900万円 地域おこし協力隊活動費に 845万円

- ・鹿角広域行政組合負担金(ごみ、し尿、斎場、消防) 2億5,840万円
- ・医療費助成(子ども安心医療扶助、妊産婦医療扶助) 5,775万円
- ・道路橋りょう改良整備(流雪溝、道路3路線、2橋りょう) 1億5,650万円
- ・小坂町交流センター改修事業 5,616万円
- ・グリーンツーリズム推進事業(ワイナリー関連、ブドウ栽培振興等) 2,340万円
- ほか

小坂町一般会計及び特別会計

(単位:千円)

区分	予算額		比較	
	平成30年度	平成29年度	金額	(%)
一般会計	3,869,000	4,108,000	△ 239,000	△ 5.8
特別会計(合計)	1,849,408	1,998,548	△ 149,140	△ 7.5
特別会計	国民健康保険特別会計	611,300	775,158	△ 163,858
	後期高齢者医療特別会計	76,273	80,947	△ 4,674
	介護保険特別会計	770,814	768,850	1,964
	保険事業勘定	765,813	763,846	1,967
	介護サービス事業勘定	5,001	5,004	△ 3
	歯科診療所特別会計	63,185	61,381	1,804
	中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	6,084	8,738	△ 2,654
	菅原ヤエ奨学資金特別会計	3,003	2,404	599
	文化基金特別会計	1,233	1,001	232
	下水道事業特別会計	315,762	298,306	17,456
企業会計	小坂財産区特別会計	1,754	1,763	△ 9
	(収益的収入)	258,087	272,472	△ 14,385
	(収益的支出)	244,775	264,990	△ 20,215
	(資本的収入)	50,659	196,227	△ 145,568
	(資本的支出)	187,325	334,535	△ 147,210

*一般会計の平成29年度予算額は第2号補正後予算額になります。

平成30年第1回小坂町議会
定例会は、3月7日から16日
までの10日間の会期で開催さ
れました。
新年度予算については予算
特別委員会を設置し、2日間
にわたり、一般会計・特別
会計の予算を審議しました。
内容は、予算関係議案12件
のほか、関係条例議案15件、
平成29年度補正予算関係議案
7件、その他の議案6件を原
案のとおり可決しました。
また、陳情1件を採択、継
続審議の陳情1件を賛成少數

で不採択。意見書1件を可決、
決定案5件を決定し、報告2
件を受けて閉会しました。
(3ページ以降に議案一覧)
平成30年度一般会計予算の
総額は38億6,900万円で、
前年度(2号補正後)に比べ
2億3,900万円の減となっ
ており、当初予算額では4年
連続の減額です。
予算審議では、財政の健全
化は喫緊の課題であることか
ら、費用対効果を充分に考慮
して、行財政改革を積極的に
推進するよう要請しました。

採決の際に賛否が分かれた案件の結果(3月定例議会)
「消費税を10%に増税することを中止することを国に求める
意見書採択に関する陳情」

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	採決結果
鹿児島巣	船水隆一	本田佳子	亀田利美	栗山忠三	宮信	小笠原正見	成田直人	椿谷竹治	小笠原憲昭	熊谷聰	目時重雄	不採択
○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	

○:賛成 ●:反対 欠:欠席 (議長は採決に加わりません。)

- 問 中央児童館の運営は指定管理料に含まれているのか。また、小破修繕が発生した際、指定管理料の中で修繕するのか。
- 答 運営は指定管理料の中に含まれており、月に一度「乳幼児と母親の遊びの広場」として使ったり、夏や冬休みなどは、子どもたちが自由に遊んだりであります。
- 問 児童館の周知がされていないように思える。指定管理しているのであれば、活動をするよう町が指導すべきである。
- 答 町から指定管理者に対し指導します。
- 問 人工透析の通院経費に限って補助している理由は。
- 答 人工透析を受ける患者は、病状により通院の頻度が多くなるので、状況を判断して補助を行っています。
- 意見 他の通院補助も検討すべきと考える。
- 問 七瀧保育所の児童数は、また、行政改革の面から小坂マリア園での受入も含めた今後の運営の見通しは。
- 答 30年度は11人です。行政改革と集団保育の面から、地域の方々と相談して運営について検討していきたい。



老杜大学開講式

審議された請願・陳情一覧（※議長は採決に加わりません）								区分
							議案名	
総務福祉常任委員会付託	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務福祉常任委員会付託	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務福祉常任委員会付託	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総務福祉常任委員会付託	無縁死亡については警察で死亡確認をし、その後は町で火葬して、お寺で葬儀を行い無縁地については考えていきたい。	意見 地域、保護者があるので慎重に検討していただきたい。
老人ホームの申し込み状況は。	老人ホームの申し込み状況は。	あかしあの郷に開設される老人ホームの申し込み状況は。	あかしあの郷に開設される老人ホームの申し込み状況は。	あかしあの郷に開設される老人ホームの申し込み状況は。	老人ホームの申し込み状況は。	老人ホームの申し込み状況は。	老人ホームの申し込み状況は。	問 出生数も少ないので、以前から認定こども園の設置を指摘しているが、小坂マリア園に要請しているのか。条件があるとすれば町が必要な措置を講じることもできるのではないか。
答 必要事項として、保育士の免許・講習の受講や保育料の徴収もあり、事務体制の強化が求められ、園長は保育所と教員の資格が必要となります。小坂マリア園では、制度が始まつたばかりなので、判断できない状況にあるとのことなので、もう少し時間をいただきたい。	答 10室中5室程度決まつたと聞いています。入所補助は年間所得160万以下の人に対し5段階で設定しています。予算の根拠は、無収入の人が全室に入所した場合の予算総額です。	答 敬老会は従前と同じやり方と同じか。	答 敬老会は従前と同じやり方と同じか。	問 認定こども園の必要性について教育委員会の考えは。	答 教育委員会で、0歳から15歳まで一貫した対応ができれば望ましいと考えている。	問 今年中には一定の方向性を決めてほしいが町長の考えは。	答 相手もあるので慎重な対応が必要ですが、できるだけ早く結論を出したい。	問 高齢者の免許返還について、交通機関が不便なことから、対策を検討してほしい。
産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	問 共同墓地・無縁墓地の考えは。
産業教育常任委員会付託	町道の認定について	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	産業教育常任委員会付託	問 共同墓地・無縁墓地の考えは。
11	11	11	11	11	11	11	11	賛成
0	0	0	0	0	0	0	0	反対
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果

●衛生費

資源循環型社会の構築は

などを通じて働きかけていきた
い。連携診療科目維持のため、
厚生病院との連携には予算措置
しています。

い取っていただく予定で、品質条件はかなり厳しいので、そのための実証試験音である。

問 栽培面積の割にはコストが高いと思うが。

クリーンアーティ小坂処理水
セシウム除去について、フェロ
シアノ化ニッケルによる吸着試

験は、実験室レベルで回収でき
る見通しが立ったため試験を開
始したが、吸着したセシウム農

度が基準値を超える可能性があるため、秋田県と相談して中止したと聞いたがどうか。

答 吸着すると、セシウム濃度が基準値の4千ベクレルを超える可能性があり、超えると処理

問 排水の測定結果が濃くなつ
することができないため事業者
判断で中止したと聞きました。

ているので、対策が必要である。試験結果の信用性もあるので、独自の試験方法でやる選択は。

答 狩山の説明によれば、この辺に町が独自で測定して公表している。色々な方法で測定でき

問 町の医療体制で高度医療や特定診療科目について近隣地域と連携するうえで町としての支

答　高度医療の脳外科や心臓疾患領域は大学病院などと連携するため、町の実状や意見を県

● 農林水産業費



待望の赤ワインが登場

問 農業の6次産業化は現状では無理がある。基盤整備が大事であり町として今後の計画は。

答 今後の農業計画については、担当い手農家の意見を集約し、計画づくりに結びつけていきたい。

問 町長は、将来の町の農業を進めるために、どのような考えをもつているか。

答 基盤整備については担当い手の方々と協力して前向きに検討したい。

問 体験農園に関する事業の予算上の位置づけはどのようになっているのか。

答 グリーンツーリズム推進事業の一部として体験農園を位置づけて予算計上しています。

問 出生年の小坂町のワインを、20年後の成人式に一本ずつプレゼントする取り組みは考えられないか。

答 今後色々な人から意見を聞いて検討したい。

問 十和田湖温泉支援の充実を

問 ふるさとセンターの指定管理制度を予算措置しているが、現在の経営状況はどうか。

答 今年度は若干の赤字であるが、収支が均等な年もある。

問 冬期のラッセル車乗車体験は行うのか。29年度は行わなかつたが、お客様の反応は。

答 ラッセル車の乗車体験は休業で考へている。29年度については特に苦情等はなかつた。

問 ふるさとセンター電力設備を高圧から低圧に変える理由は。

答 高圧設備の耐用年数が経過しているため、現在の使用量から考え、ランニングコストが安価な低圧に見えるものです。

問 康楽館の冷房リース料が年間453万円かかっているが、今後どのようにするのか。

答 改修は多額となるので、当面リースで対応したい。

問 十和田湖温泉支援について、営業施設が少なく事業が厳しい状況にあるが、町の考えは。

答 十和田市との連携事業などで、市と協議し検討したい。

問 他に優先事業もあることから解体予定はなく、解体までには期間を要すると思う。

問 町道新遠部1号線（濁川国道→小坂北IC）の除雪がよく行われておらず、道路幅が狭く危険であるが対応は。

答 ネクスコに、高速道路の除雪と一緒に町道の除雪を業務委託している。ネクスコでは国の管理規定で、路線以外は幅員がそれるロータリー車を出せないとのことでした。重要な路線なので、今年からは町での除雪について協議していく。

問 緊急告知ラジオの配布状況は

問 小坂高校発展支援協議会への補助金の内容は。

問 小坂高校の事業や生徒の活躍を知つていただくPR活動への補助です。パンフレットや、生徒の募集を兼ねたポスターを制作しています。

問 小学校・中学校の現在の不登校の状況は。

答 小学校に関してはいないと思つてゐる。中学校に関しては、時間に遅れて登校したり、一日おきに登校したりする生徒もありますが、学期中ずっと登校しない生徒もいると聞いています。

問 いじめなどの状況はどうでしょうか。

答 いじめに関して、子どもたちのアンケートや訴えを先生が拾いあげて、経過や指導内容について学校から報告書が提出されています。指導をして繰り

配布状況はどうなつてゐるか。

答 所有していない町民に対してもう解体予定はなく、解体までには期間を要すると思う。

問 町長に、町として高校の将来像について聞きたい。

答 町の子どもたちを考え、早く場所や学科等を決定し、鹿角が一つになり新しい高校を整備してもらいたい。

問 鹿角三高校の将来像は

問 小坂高校発展支援協議会への補助金の内容は。

答 高校の事業や生徒の活躍を知つていただくPR活動への補助です。パンフレットや、生徒の募集を兼ねたポスターを制作しています。

問 小学校・中学校の現在の不登校の状況は。

答 小学校に関してはいないと思つてゐる。中学校に関しては、時間に遅れて登校したり、一日おきに登校したりする生徒もありますが、学期中ずっと登校しない生徒もいると聞いています。

問 いじめなどの状況はどうでしょうか。

答 いじめに関して、子どもたちのアンケートや訴えを先生が拾いあげて、経過や指導内容について学校から報告書が提出されています。指導をして繰り

返したり、指導を受け入れないという事例は見当たりません。

問 町長に、町として高校の将来像について聞きたい。

答 町の子どもたちを考え、早く場所や学科等を決定し、鹿角が一つになり新しい高校を整備してもらいたい。

問 教育費

問 緊急告知ラジオの町民への配布状況はどうなつてゐるか。

答 所有していない町民に対してもう解体予定はなく、解体までには期間を要すると思う。

問 町長に、町として高校の将来像について聞きたい。

答 町の子どもたちを考え、早く場所や学科等を決定し、鹿角が一つになり新しい高校を整備してもらいたい。

問 将来の町の財政は大丈夫か

問 今年度のふるさと納税額は。

答 実績で700万ほどです。

問 町の貯金である財政調整基金が取り崩しにより減少しているが、将来的財政は大丈夫か。

答 今年度の繰越金や、交付税が予算以上に入つてくると見込まれるので、積み増しができると思います。

●商工費

●土木費



緊急告知ラジオ

●消防費

問 体験農園に関する事業の予算上の位置づけはどのようになっているのか。

答 グリーンツーリズム推進事業の一部として体験農園を位置づけて予算計上しています。

問 出生年の小坂町のワインを、20年後の成人式に一本ずつプレゼントする取り組みは考えられないか。

答 今後色々な人から意見を聞いて検討したい。

問 小坂高校発展支援協議会への補助金の内容は。

答 高校の事業や生徒の活躍を知つていただくPR活動への補助です。パンフレットや、生徒の募集を兼ねたポスターを制作しています。

問 小学校・中学校の現在の不登校の状況は。

答 小学校に関してはいないと思つてゐる。中学校に関しては、時間に遅れて登校したり、一日おきに登校したりする生徒もありますが、学期中ずっと登校しない生徒もいると聞いています。

問 いじめなどの状況はどうでしょうか。

答 いじめに関して、子どもたちのアンケートや訴えを先生が拾いあげて、経過や指導内容について学校から報告書が提出されています。指導をして繰り

返したり、指導を受け入れないという事例は見当たりません。

問 町長に、町として高校の将来像について聞きたい。

答 町の子どもたちを考え、早く場所や学科等を決定し、鹿角が一つになり新しい高校を整備してもらいたい。

問 将来の町の財政は大丈夫か

問 今年度のふるさと納税額は。

答 実績で700万ほどです。

問 町の貯金である財政調整基金が取り崩しにより減少しているが、将来的財政は大丈夫か。

答 今年度の繰越金や、交付税が予算以上に入つてくると見込まれるので、積み増しができると思います。

●総括質疑

問 グリーンフィル小坂処理水セシウム除去については、町民が内容について認識し風化させることなく、町として責任ある対策を講じることが必要である。また、環境協力金は、環境対策に使用していただきたい。

答 町ができることは緊張感をもつて対応していきたい。

問 レールパークのヤードの解体について、にぎわい創出事業もつて対応していきたい。

答 現状では入園者数は減少しているが、今年はソフト事業を展開して努力していきたい。

意見 今年度の努力した結果を報告していただきことで、議会として審査していきたい。

問 朝日が丘跡地と十和田湖大川岱に、町が工事をしたときに放置された残土の対応は。

答 朝日が丘の残土の処理は財産区と協議したい。大川岱については、年数も経過し自然の一部になつてるので、関係機関からは現状のままで良いと言われている。

問 秋田県は健康施策に力を入れているが、役場庁舎の禁煙について町長の考えは。

●討論



ブルートレイン「あけぼの」

としていかなければと思つてゐるが、影響がない場所での喫煙についての思いもある。

問 レールパークのヤードの解体について、にぎわい創出事業や、前所有者の責任で解体すべきだったと思うが。

答 事業の中でも活用できると考えていたが、譲渡前に調査ができず、活用計画について現状では危険な建物と判明したので解体することにした。

答 給付については町の責任なので、最終的なレセプトチケットを正確にやつていきたい。

●国民健康保険特別会計

問 県単位の運営になるのに伴い、町でのチエック体制は大丈夫か。

答 被保険者数が微増なのに保険料が減少しているのは、高齢者の収入が前年度から減少する見込みでの予算です。

●第3期高齢者医療特別会計

問 一般会計からの持ち出しが多いが、支出を抑えるなど今後の経営の見通しは。

答 高齢者を訪問しての口腔ケアなど、地域医療としての役割は大きいと思う。

問 歯科診療は歯の治療と同時に認知症予防にも重要であることから、高齢化社会に対応した町の位置づけが必要かと思う。

答 支出削減など経営改善を検討するが、町民の健康管理の面から診療は続けていきたい。

小坂町課設置条例の一部を改正する条例案を可決

4月臨時議会

時会が、4月25日に開催されました。
平成30年第2回小坂町議会臨時会が、4月25日に開催されました。
この臨時議会では、補正予算の専決処分6件、条例を一部改

正する専決処分3件を承認、決定案1件を決定しました。
また、現在の町民課を、町民課と福祉課に再編する課の設置条例と、それに伴う補正予算、議会委員会条例の一部を改正する条例3件をそれぞれ原案どおり可決しました。
平成30年度一般会計予算の総額は、今回の補正予算により38億6965万3千円となりました。

平成30年度 当初予算審議 予算特別委員会報告書 特記事項 (30年3月定例会)

- 財政の健全化は喫緊の課題であることから、費用対効果を充分に考慮して、行財政改革を積極的に推進すること。
- グリーンフィル小坂処理水のセシウム除去について、安全性が保障できるように、町として確実に取り組みを進めること。
- 担い手農家の育成を図りながら、六次産業化の推進を優先事業として実施すること。
- にぎわい創出事業の小坂鉄道レールパークについては、安定した管理運営に努めると共に、事業の評価によっては運営方法の見直しも検討すること。
- 鹿角地域3高等学校の統合については、通学や地域の特性を活かした人材の育成を図るためにも、町が積極的に関与すること。

十和田湖和井内エリア整備計画で もうかる観光へ

一般質問

町政を問う

小笠原憲昭議員



▶整備が待たれる和井内エリア

町長 観光拠点の施設充実で湖畔・街なかへ誘導
**冬期間の課題である、除雪や
暖房費確保への生活支援を**

答 生活道路の除雪のほか、
地域の支え合いによる「あん
しん除雪支援事業」や、「軽度
生活支援事業」を行っています。
今後、どのような支援が
必要か、さらに検討します。

暖房費の支援については、
平成19年度と25年度に灯油価
格が高騰したことから、低所得
者を対象にした灯油購入費
の一部助成を、県からの助成
を受けて行いました。今後助
成を行う場合は、どの程度の
価格上昇で実施するかや、対
象範囲、適正な助成金額等の
要件について、状況を見ながら
検討したいと考えます。

問 議員と語る会で、上向・
川上地区から11月中の降雪に
も除雪してほしいとの要望が
あった。多少経費がかかって
も対応できるように契約すべ
きではないか。

答 除雪経費は年間約1億円
かかっています。できる範囲
で個人に依頼するなどして対
応できるように検討します。

問 除雪には大変な工ネル
ギーを要する。高齢化比率が
43%であり、今後さらに比率
は高まる。意欲のある自治会
や個人の除雪機購入に助成す
る施策は考えられないか。

答 自治会への除雪機購入助
成については、住宅密集地で
の排雪問題や管理方法もある
と思うので、検討の時間をい
ただきたい。

問 子どもたちが通学する道
路の交差点が除雪されていな
いが、対応できないものか。

答 除雪車で対応できない部
分がありますので、地域の協
力やボランティアの支援をお
願いしたいと思います。雪対
策連絡協議会でも、除雪機の
活用が話題になりましたので
検討します。

問 町の人口の半分以上が高
齢者になり、年金生活での暖
房費の負担は大変である。生
活弱者への支援を今こそ実施
してほしい。

答 少し時間かけて検討さ
せていただきたい。

十和田和井内整備計画をもうかる 観光にどう結びつけるか

問 十和田湖観光の拠点とし
て和井内エリアの施設の充実
を図り、観光客に休憩所とし
て利用していただき、観光案
内により湖畔での滞在型観光
の向上と、町中心部への観光
誘客により、観光商業事業者
の営業収入増につなげていき
たいと考えています。

問 観光案内機能を持ち、休
憩所として、休屋、大川岱
の滞在型観光を進めたい。
問 エリア内の施設の建築資
材として、旧十和田小・中学
校の部材を活用できないか。
答 そのような意見があるこ
とは承知しているので、解体
時点で検討します。

公会計制度への移行に伴う 議会選出の監査委員選任は

答 審議・可決された執行等につ
いて、議会選出の監査委員が
監査することは実効性のある
ものと考え、現時点で条例の
改正は考えていません。

問 民間識見者から選任の監

委員を置かないことができる
ようになつたが、どう考えて
いるか。

答 地方公共団体での予算・
決算制度は、現金収支を議会
の民主的統制下に置くこと
で、適正・確實な執行を図る
観点から、確定性、客觀性、
透明性にすぐれた現金主義会
計を採用しています。議会で

屋や大川岱に誘客するだけ
で、エリア内で食事の提供は
しないのか。車が50台以上駐
車できるのであれば、湖で魚
釣りをしたり子どもが遊べる
エリアにすれば、食事処は必
要と考えるが。

答 現時点では食事の提供は考
えていません。休屋、大川岱
の滞在型観光を進めたい。
問 エリア内の施設の建築資
材として、旧十和田小・中学
校の部材を活用できないか。
答 そのような意見があるこ
とは承知しているので、解体
時点で検討します。

答 県内町村の平均は月3万
円です。当町は2万5千円
で、かなり低い状況で下から
4番目となっています。

要望 議会選出委員はともか
く、民間識見者の報酬について
は検討していただきたい。

町の介護保険・新しい事業計画でどう変わるのか

町長 保険料は据え置き、自立支援・地域共生社会への

取り組み強化などを追加します



セバームでのお元気クラブの交流会



鹿兒島 嶽議員

一般質問

町政を問う

問 新年度からの第7次介護保険事業計画の策定を進めているが、策定の進行状況はどうか。負担やサービスなど、現行との相違点は。

答 介護保険は3年ごとの見直しとなっており、現在事業計画の策定を進めています。内容は、自立支援・重度化防止の取り組み強化、医療・介護の連携化、地域共生社会の実現に向けた取り組み等を追加し、具体的には介護予防の推進、健康づくりの支援と推進、高齢者を支える環境づくり、介護保険事業の運用と介護サービスの推進の4項目を基本目標に設定しています。

特に総合事業では多様なサービス分野を強化し、通所型・訪問型の短期集中予防サービスや、移動支援について新たな取り組みを予定しています。また、地域共生社会を推進するため、高齢者に限らず子どもや障害者など、すべての

問 法改正による国の介護保険の流れは、医療的ケアが必要な中重度者に重点を絞り、軽度者は保険給付の外へという流れの中で、軽度者に対する介護に後退が生まれる危惧があるのではないか。

答 国は様々なサービスができるよう通達していますが、町としてはケア会議を中心として、町・事業者と密接な連携を取りながら事業を推進しており、他市町村とは違った形で充実していると考えています。

問 生活支援の具体例で輸送サービスの現状と、事業を

問 現在の子育て世帯の生活状況を直視すれば、高校生への支援が必要と考えるが、これまでの検討状況はどうか。

答 教育大綱では「子育て支援の観点から高校生への教育支援のあり方を検討」としております。通学費支援については、仮に町内から高校がなくなり、全員が町外への通学を余儀なくされた時点で、とあることから、総合教育会議議長である町長の所見を聞きたい。

答 通学補助については保護者の方などから聞いており、今後については考えていかなければならぬ課題として検討していきます。

問 新年度からの第7次介護保険事業計画の策定を進めているが、策定の進行状況はどうか。負担やサービスなど、現行との相違点は。

答 介護保険は3年ごとの見直しとなっており、現在事業計画の策定を進めています。内容は、自立支援・重度化防止の取り組み強化、医療・介護の連携化、地域共生社会の実現に向けた取り組み等を追加し、具体的には介護予防の推進、健康づくりの支援と推進、高齢者を支える環境づくり、介護保険事業の運用と介護サービスの推進の4項目を基本目標に設定しています。

問 法改正による国の介護保険の流れは、医療的ケアが必要な中重度者に重点を絞り、軽度者は保険給付の外へといいう流れの中で、軽度者に対する介護に後退が生まれる危惧があるのではないか。

答 国は様々なサービスができるよう通達していますが、町としてはケア会議を中心として、町・事業者と密接な連携を取りながら事業を推進しており、他市町村とは違った形で充実していると考えています。

問 現在の子育て世帯の生活状況を直視すれば、高校生への支援が必要と考えるが、これまでの検討状況はどうか。

答 教育大綱では「子育て支援の観点から高校生への教育支援のあり方を検討」としております。通学費支援については、仮に町内から高校がなくなり、全員が町外への通学を余儀なくされた時点で、とあることから、総合教育会議議長である町長の所見を聞きたい。

答 通学補助については保護者の方などから聞いており、今後については考えていかなければならぬ課題として検討していきます。

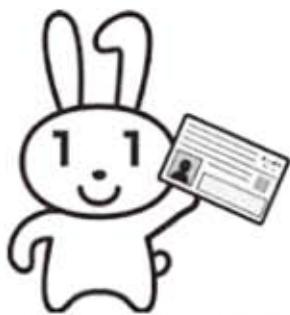
答 輸送サービスは利用者が少なくサービスの提供体制を取ることが厳しいと聞いております。この問題では輸送サービス+別のサービス（例えばデイサービス+輸送サービスなど）など、色々なサービスの組み合わせについてアイデアを検討して、事業を組み立てていきたいと研究しています。



希望を抱いて新たな進路に向かう生徒たち

マイナンバーカードの申請サポートを

町長 サービスが受けられるよう努力する



マイナンバー・キャラクター 「マイナちゃん」

問 秋田県内では町の交付率が良い方だが、秋田県全体が他県から比べると、まだマイナンバーカード取得率が低い。秋田市と横手市ではカード申請をお手伝いする「カード申請サポート」の窓口があり取得率も徐々に上がっている。小坂町の今後の取り組みは。



通称「かおてれび」

一般質問

本田 佳子議員

9・1%で、秋田市、藤里町に続き県内第三位となつてます。身分証明書としてだけではなく今後の子育てワンストップやオンラインバンキングなど、マイナンバーカードでオンライン手続きができ、高齢者にとつても子育て世代にとっても便利なものとなり、交付率も増加していくものと考えます。

問 子どもの発達障害に対する支援をどのように行つてい
るか。現状として十分か。

問 早期発見ツールとして、
ゲイスファインダーというテ

の視線を読み取り、わずか2分ほどで評価されるもの。価格が300万と高額ですが、発達障害の早期発見と今後の子ども教育に関する新たな手助けとなるものとりますが、町としての見解は。

発達障害児の早期発見で安心を

町長
スタッフの資質向上を図る

心肺蘇生教育で安全な学校環境を

町長 慎重に判断したい

問 小・中学校における児童生徒への心肺蘇生教育が行われているか。

問 小・中学校における児童生徒への心肺蘇生教育が行われているか。

胸骨圧迫などの心肺蘇生法の学習、またAEDに触れる体験を行っています。

問 小学校においても4・5・6年生くらいであれば、理解でき心肺蘇生教育を行つても



答 救助のため実際に心肺蘇生をした場合に、その相手が助からなかつた場合のことなど考へると、小学生では心の負担が大きいと考えられるので、慎重に判断したい。

安全な学校環境を

の視線を読み取り、わずか2分ほどで評価されるもの。価格が300万と高額ですが、発達障害の早期発見と今後の子ども教育に関する新たな手助けとなるものと想いますが、町としての見解は。

答　早期発見に大変便利なツールと考えますが、少子化で町の子供の数が少ないうえ、現在の支援体制でも十分早期発見できるものと考えます。子どもの数が増え、必要と判断したときに検討したい。

十和田火山大規模噴火への対応は

町長 日常からの危険箇所の

点検・巡回が必要である

一般質問

町政を問う



熊谷 聰議員



国立公園十和田湖

問 想定される災害は何があるか。また隠れた災害を発見するための取り組みは。

答 平成28年2月に活動火山対策特別措置法に基づき、十和田火山防災協議会を設置し、噴火シナリオ、火山ハザードマップ、噴火警戒レベル、具体的な避難計画等について検討し、その後、協議会で最終案を取りまとめている。

想定される災害は、十和田湖地区、町全体に火碎流、火砕サージと投下火碎物が想定される。また、隠れている災害の取り組みは、日ごろから入と災害廃棄物処理計画は。

答 災害時のボランティアの受入れと災害廃棄物処理計画は地域防災計画により、小坂町社会福祉協議会が中心となつて災害ボランティアセンター

を開設し、他団体と連携して支援することになつています。廃棄物処理についても地元防災計画により迅速に処理しますが、被害が甚大で町で処理が不可能な場合は、県の指導により、他市町村に応援要請し解決を図ります。

農業、山林の将来ビジョンの必要性は

問 食、農業について町の明確な方向性はあるか。

答 大規模養豚団地や「バイオマスター農園構想」と資源環境型農業として転作田や耕作放棄地を再整備し、菜種をはじめ、山ぶどう交配種の栽培と「日本ワイン」の醸造等特徴的な農業を推進しています。

これらの施設を連携活用した6次産業化、食育及び地産地消を推進し、既存の農業経営にプラスになる仕組み作りが課題。現在、安全、安心、新鮮な農畜産物の地域内物流を高めるとともに、農家の所得向上を目指し地産地消推進計画の策定を進めています。

ジョンをもつてゐるか。

答 自然条件が悪く、採算ベースにならない森林は市町村が管理を行う新たな制度を創設する森林関係法令の見直しが検討されています。施行されれば、森林所有者に適切な森林管理を促すため、森林管理の責務が明確化され、森林所有者が管理を実行できなければ、意欲と能力のある林業経営者につなぐ仕組みを設けることになります。再委託できない森林及び再委託までの間は、町が間伐等の管理をすることが予定されています。

対象森林の抽出や所有者の確認等、町では意向調査を実施し、林地台帳を整備して必要な森林整備を実施し、森林資源の保全と有効活用を図つてていきます。

小坂七滝ワイナリーの将来ビジョンは

問 ワインの付加価値と、現在までの稼働率及び初出荷については。

答 十和田湖や産業遺産、そして日本独自の山ぶどう交配種を柱とした特徴的な地域資源を生かし、滞在型観光を通じた過型観光から滞在型観光へと転換させ、ワイナリー周辺の「見る」「体験する」環境を整備し、地域食材とも連携し「食べる」「飲む」「泊まる」がセットになった観光事業を展開していく予定です。



▶小坂ワイン

業振興を図つてていきます。

決定

議会の組織である各委員会は、2年に一度構成が変わり、平成30年4月から新たな委員で活動が始まりました。

総務福祉常任委員会

(所管は7月1日からの機構改革後の、次の事項に関することです。)



委 員 小笠原憲昭
委 員 成田 直人
委 員 鹿児島 巍
委 員 長 椿谷 竹治
副委員長 本田 佳子

【町史編さん室】

町史編さん及び刊行
町史編さんに関する調査及び記録

【出納室、選挙管理委員会、及び監査委員】

出納室、選挙管理委員会、
及び監査委員

【観光産業課】

国際交流
農業、林業、畜産業及び
水産業振興
農業技術並びに農業経
営、農家の生活改善

【教育委員会】

生涯学習、社会教育
文化財保護
スポーツ振興
保育事務及び七滝保育所

【総務課】

重要施策の企画、調査及び総
合調整
地域総合開発の計画及び推進
土地の利用及び対策
統計調査
総合交通政策
定住促進施策
町議会及び町行政一般
文書、条例及び規則等
防災
財政及び予算

【福祉課】

情報管理
町有財産
防災
職員の人事、給与、福利厚生
及び研修
廃棄物、塵芥処理及び減量化
国民年金
町税及び国民健康保険税
保健衛生及び保健指導
社会福祉施設及び保健施設
社会福祉及び社会保障
介護保険
診療所

【町民課】

戸籍及び住民基本台帳
住民相談
消防、防犯及び交通安全
環境施策の総合調整及び推進
資源再生及び省資源対策
生活環境の保全、環境衛生及
び公害
國民健康保険及び医療給付
町税及び國民健康保険税

【農業委員会】

道路、河川及び橋りょう
土木建設

【建設課】

委 員 舟水 隆一
副委員長 宮 信
委 員 熊谷 聰
委 員 鹿田 利美
委 員 栗山 忠三
委 員 目時 重雄
委 員 小笠原正見
委 員 長 椿谷 竹治
副委員長 本田 佳子
委 員 鹿児島 巍
委 員 成田 直人
委 員 小笠原憲昭

産業教育常任委員会

(所管は7月1日からの機構改革後の、次の事項に関することです。)

【観光産業課】

国際交流
農業、林業、畜産業及び
水産業振興
農業技術並びに農業経
営、農家の生活改善

【教育委員会】

生涯学習、社会教育
文化財保護
スポーツ振興
保育事務及び七滝保育所

【農業委員会】

委 員 舟水 隆一
副委員長 宮 信
委 員 熊谷 聰
委 員 鹿田 利美
委 員 栗山 忠三
委 員 目時 重雄
委 員 小笠原正見
委 員 長 椿谷 竹治
副委員長 本田 佳子
委 員 鹿児島 巍
委 員 成田 直人
委 員 小笠原憲昭



委員会構成が

議会運営委員会

議会運営委員会は、6名の議員で構成され、議会を円滑かつ効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれる委員会で、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関です。

議会運営委員会の権限は次に掲げる事項に関する調査及び議案、陳情等の審査とされています。

- ・議会の運営
- ・議会の会議規則、委員会に関する条例等
- ・議長の諮問

そして、本会議を適正かつ円滑に進めるために、次の調査事項を決定することになります。

一、会期及び会期日程

二、議事日程の取り扱い

三、説明員の出席要求の取り扱い

四、一般質問の取り扱い

五、議案の取り扱い及び特殊な議案の採決の方法

六、発議案（意見書・決議）の取り扱い

七、常任委員会の所管事務の取り扱い

八、特別委員会の取り扱い

九、特殊な請願、陳情の取り扱い



委 員 椿谷 竹治
副委員長 船水 隆一
委 員 亀田 利美

委 員 小笠原憲昭
委員長 鹿児島 巍
委 員 栗山 忠三

議会広報対策特別委員会

議会広報対策特別委員会は、二つの常任委員会や議会運営委員会とは異なり、町条例に規定されていない任意の特別委員会という性格のものです。平成九年三月議会終了後に「議会だより」こさか「創刊号を発行してから二十一年（八十五号）の月日が経過しました。この間、制作から発行までを議員自らが手がけてきました。

また広報編集という作業のため休会中（定例会以外）でも特別委員会として編集活動を行うことができ



委 員 成田 直人
副委員長 熊谷 聰
委 員 宮 信
委員長 本田 佳子
委 員 小笠原正見
委 員 栗山 忠三
委 員 宮 信

これからも町民皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、ご意見、ご要望をお聞かせいただきますようお願いいたします。

● 議会を傍聴しませんか？ ●

次の議会は**6月12日**から**開会予定**です



- 傍聴の手続きは簡単です。傍聴の入り口で、名前と連絡先を書くだけです。団体で来られる場合は、事前にご連絡ください。
- なお、傍聴する人は次の事項を守らなければなりませんので、ご留意願います。
- 一、会議場内の言論に對し可否を表明しないこと。
 - 二、いかなる理由があつても議席に入らないこと。
 - 三、騒いだりして議事を妨害しないこと。
 - 四、帽子、襟巻又は外とうの類を着用しないこと。
 - 五、傘及び棒類を携帯しないこと。
 - 六、その他議場の秩序を乱す行為をしないこと。

みんなの広場への 投稿を募集

次号から、町民の皆様の町政や議会、町づくりに対する提言や要望を掲載するコーナーを設けることにしました。

投稿は次により受付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

1. 文字数は600字以内でお願いします。
2. 趣旨は変えずに一部修正することができます。
3. 投稿に対しての回答等は行いませんのでご了承願います。
4. 内容が趣旨にそぐわない投稿は掲載できない場合があります。
5. 投稿が複数ある場合は、次号への掲載となります。
6. 投稿は、持参、郵便またはメールで受付いたします。

■投稿・お問い合わせ先

〒017-0292

小坂町小坂字上谷地41番地1

小坂町議会事務局

電話 0186-29-3914

メール gikai@town.kosaka.akita.jp

議員と語る会 開催のご案内

議員と語る会では、議会活動について、簡略に説明しているほか、参加者との「語り合い」を重視し、多くの参加者が発言できるようにしています。

まちづくりについて、多くの皆さんと語り合いたいと思いますので、お気軽にご参加くださるようご案内いたします。

毎年、6月と11月に開催していますが、6月は各地区自治会連協単位ではなく、全町を対象として1箇所で開催いたします。

なお、今回も「議員と語る会」において、テーマにしたい内容や、語り合いたい項目などで、事前にお聞かせ願えるものがありましたら、自治会長や各地区自治会連協会長の方々を通じて、議会事務局（☎0186-29-3914）へお知らせください。

また、個々の自治会や団体などとの「語る会」にも、可能な限り議員が出向きますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

対象地区	日 時	会 場	参 加 者
全 町	6月29日(金)午後6時30分	セパーム	議員全員

久々の広報委員となり、内容が乱雑になりますが何分ご容赦願います。
今年度の町の主要事業の中から少しご紹介したいと思いります。

事業の中にジャガイモ（加工用）栽培実証が計画されています。将来、町の特産となり生産拡大になればと思いをはせてています。

地域おこし協力隊では、ぶどう栽培に意欲のある若者の来町予定があることから、地域活力の起爆剤になればと期待しています。

また、高齢化に対応する最善の施策を展開し、町民が健康で元気に過ごすことで、秋田県の健康寿命全国最下位（平成28年統計）男性最下位、女性33位）の汚名を返上したいものです。

編集後記